

## 府中市健康地域づくり審議会

### 第14回いきいき世代づくり分科会 ・ 府中市自立支援協議会報告書

- 1 と き : 平成29年6月1日 (木) 16時~17時15分
- 2 ところ : 府中市保健福祉総合センター 3階第2・第3会議室
- 3 出席者 :

(分科会長)	府中地区医師会	金光俊尚
(分科会副会長)	府中商工会議所	北川祐治
(職権委員)	府中市政策顧問	寺岡暉
(常任委員)	府中市公立病院	若木俊夫
(常任委員)	府中市民病院機構	北村智樹
(常任委員)	府中地域産業保健センター	石岡卓二
(常任委員)	府中地区歯科医師会	繁原宏
(常任委員)	身体障害者福祉協会	橋高則行

#### 4 会議内容

- (1) 分科会長あいさつ
- (2) 委員の交代

委員の退職に伴い委員変更について紹介

#### (3) 議事

平成29年2月開催の「いきいき世代づくり分科会」で目標値未設定の施策について意見交換がおこなわれた。

#### ○質疑・意見交換

##### 糖尿病性腎症重症化予防事業について

###### 【意見】

糖尿病性腎症に対する取組について、医療機関とどのように連携するのか、地域の医療従事者と話を進めないといけない。

###### 【説明】

レセプト等専門業者へデータの分析を依頼し、対象の事業を実施する対象者の選定を行う。それを基に本人の希望によってかかりつけ医の先生と相談して実施する。

この事業については、昨年度から事業の提案をさせていただいており、府中地区医師会の先生方とも協議をさせていただいている。今度、説明会を開く予定である。

###### 【説明】

対象者の選定にあたっては、特定健診の健診や受診結果、レセプトの情報から2期から4期の方を抽出し、かかりつけ医の先生と連携をしながら、例えば食事の指導・食事の話であるとか、受診の勧奨とか事業を継続するにあたっての保健指導を主に行う。

###### 【意見】

保健指導は医師と行政の保健師が行うものでは。

###### 【説明】

この事業に特化してこの事業を重点的に行うにあたってマンパワーが足りないということがあり、専門業者をお願いをする。これは広島県全体で進めていく事業であり国保連合会と受託業者が契約を交わし、府中市はその負担金を支払う。

###### 【意見】

こういうような事業を進めるというのは医師、医療機関、そして行政の保健師がやることと考えるが、医療機関等としっかり協議をして進めてほしい。

**【意見】**

国保データなどから患者数のうち何%が人工透析に移行しているか、数字はわかっていると思うので、そうしたデータを出すことが必要ではないか。

また、対象者の人に受診の重要性を認識してもらう取り組みが必要。

**【説明】**

データについては、データヘルス計画の中で取り上げており、今年また引き続き来年度の計画を立てるので直近の数値を表せたらと考えている。

### がん検診受診率の目標値設定及びがん予防対策

**【意見】**

今回、受診率の見直しについて説明があったが、その目的は。

**【説明】**

これまで県内を統一するために広島県が示した数値を基にしていたが、平成28年、厚生労働省から市町村が全国のどの位置づけにいるのか確認するために全国統一の計算方法を示した。府中市が全国でどこにいるのか、そういうことを示すために見直しをした。

### 食育拠点の運営について

**【意見】**

場所の課題もあるが、一度このメンバーで食事をしてみて意見を出してはどうか。

### 地域・職域で取り組むこころの健康づくり

**【意見】**

メンタルサポーターというのはどういう仕事をするのか。

**【説明】**

広島県で進めている「ゲートキーパー事業」のことで府中市では、ゲートキーパーではなく「メンタルサポーター」というような呼び方をするようにしている。心の健康に不調を抱えた人に身近なところで気付かないといけない。身近なところで気づける人がたくさんいることが大切。このメンタルサポーターを一人でも多く育成しようということで研修会を実施している。

**【意見】**

今までの相談で「良かったとか、悪かったとか」あるか。

**【説明】**

昨年まで施設の職員さんを対象に育成しており、それがどのくらい自殺予防に効果があったかということとはなかなか評価はできないが、相談を受けているということは、後のアンケートで把握している。

**【意見】**

研修はどんな研修で、誰がどういうふうを実施しているのか。

**【説明】**

保健師が研修の講師として広島県が作ったDVD、テキストを利用し研修会を実施している。

**【意見】**

メンタルヘルスサポーターとなる人自体はかなりの力量を持っていないといけない。

メンタルヘルスサポーターの養成は重要である。保健師はいろんな場面に遭遇しているという経験の豊かさがあるので、カウンセラーではないが、カウンセリング的なマインドとか持っている。カウンセラー自身が少ないという現状においては、保健師が講師となって進めて行くことになるのだろう。ただ、研修が必要でありかなり責任が重い。

### 3 障害者の雇用機会の増大に向けた施策の推進

**【自立支援協議会事務局説明】**

資料1 P4 障害者の雇用機会の増大に向けた施策の推進について説明

**【意見】**

障害者の雇用の問題について岡山県総社市では、障害者1000人雇用事業を立ち上げ、2017年今年5月29日に障害者1000人目の雇用ができたという記事が出ていた。府中市は10人という目標が出ているが、なかなか定着ができないのは、結局施設に入っておられる方がかなり重度の方が多くてなかなか一般就労は難しいのではないかと理解している。そこで少し考え方を变えて施設での工賃が少しでも上がるような施策をするべきではないかと思う。

**【意見】**

障害者の雇用という時に障害者の対象者はどういうカテゴリーか、認知症の人もいれば発達障害の人もいると思うが、どのような人がいてそれが全体のボリュームとしてどれくらいいるのかということは、もうすでにデータがどこかで発表されているのか。相手がとらえられていないと、障害者の雇用拡大と言っても説得力が無い。数を増やしたいのか、それとも雇用者機会の増大という事業をアピールして地域の企業にアピールするためにするのかによってまた取組の形も違ってくる。

**【説明】**

ご指摘いただいたように、障害者の雇用政策についても企業の方に浸透させていただくということと、あと実態を把握していく、重度の方が何人いらっしゃるかということも含め、第5期の障害福祉計画の方に意見をいただいて取り入れていきたい。

(2) 平成29年度会議の開催について 資料4

(3) 平成29年度策定の計画について 資料5

府中市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定について 追加説明

**【意見まとめ】**

この分科会は、府中市民の健康と医療と福祉を総合する。特にこの委員会はそういう分野なので、関係部所との連携を緊密にやっていただきたい。

また、医療との連携を緊密にやらないと医療と切り離してこの委員会の機能があることはありえない。

障害者の事業についても実態を良く把握して強調するところをもう少しはっきりさせていただいたらよいと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。

4. 閉会

17:15分閉会